

第62回(平成25年度第3回)番組審議会議事録

開催日時：平成25年9月20日(金) 午前10時00分～11時20分
会 場：西宮市職員会館 第1中会議室

1. 出席者の状況
委員総数：7名
出席委員：7名

放送事業者側出席者
代表取締役社長：1名
ディレクター：1名
西宮市広報課：1名
取締役：1名
顧問：1名

2. 議事に入るまでの経過

事務局より、定時となったので審議会に入る旨の発言の後、委員長に議長として議事進行を依頼。

議長は第62回(平成25年度第3回)番組審議会を開催する旨を述べた後、社長に開催に当たっての挨拶と放送事業者側の出席者の紹介を求めた。

社長は委員の出席に謝辞を述べた後、会社側より出席するディレクター、および市広報課、取締役、顧問を紹介し、各々挨拶をした。

続いて議長は本日の出席状況の報告を事務局に求めた。

事務局は委員7名中現在6名が出席、1名が遅れて出席する旨を述べ、過半数を満たしており審議会が有効に成立する旨を報告した。

3. 議題

(1) 番組の審議

議長は、本年度第3回目の番組審議会を開催し、議事次第に従い議題の1番、番組紹介に移る旨を示した。本日の審議対象番組は「歴史と文化の散歩道」であり、議事次第の通り「番組内容の説明」と「テープによる番組紹介」を一括提起するよう事務局に求め、質疑応答は「番組内容の説明」と「テープ番組紹介」終了後に一括して受ける旨を委員に述べた。

[ディレクターによる番組内容の説明]

ディレクター

本日審議して戴く「歴史と文化の散歩道」は毎週土曜日朝 8 時半と夜の 8 時半に放送している。文化方面に携われた前田 豊さんが、西宮の歴史に詳しい方を訪ねてお話を聞いたり、地域の方に昔の様子を尋ねるなど、現地で歩きながらお話を聞くというスタイルの番組。内容によってはスタジオにお招きしてお話を伺うこともある。「歴史と文化」というタイトルに基づき古墳に行って学芸員の方に説明して頂くというようなこともあれば、歴史だけではなく美術館に行って展示会の紹介をすることもできる。

本日お聴き頂くのは9月14日放送の西宮市長をゲストにお招きしたものの。3都市宣言合同記念事業が9月16日に行われたが、3都市宣言とはどんなものかを前田さんが市長にじっくり伺ったもの。先ずはお聴き頂きたい。

[カセットテープによる番組紹介] (平成 25 年 9 月 14 日土曜日放送分)

[番組に関する意見交換]

議長

番組を聴いて戴いたが、これからご意見交換に入りたい。ご質問やご意見を順番に伺っていききたい。聴いて戴いて如何だったか。

委員

話の内容はよくわかった。市長の話は度々聴いており、いつもは演説かスピーチかご挨拶かという改まった風に聞こえていたが、お二人がお知り合いということもあってか関西弁でざっくばらんに喋っておられた。しかし市長と前田さんの声質が似ていることもあって、どちらが喋っておられるのか分かりにくいところもあった。取材をし尽くしておられる前田さんが話されると市長が話しておられるのかと錯覚を起こした。聴き辛かったところがあったいな。前田さんあつての番組だとは思いますが、聴き手が方いっそ女性だった方が市長の喋っておられる部分が判り易かっただろう。けれど、短時間で詳しくお話をされていてよく分かった。

委員

市長が番組に出られる時は正確に原稿を読んでいるといった堅い感じがしていたが、今回はざっくばらんな感じでお話をされていたのがよかった。歴史について聴いていると、50 年ほど前に市長が近くの上甲子園公民館にいらした時のことなど昔の事を思い出した。

社長

番組内で話しておられましたね。

委員

非常にいい番組だった。昭和 30 年代のことは存知上げないが、番組を聴いて声の情報

だけで視覚情報はないのに、当時の情景が目には浮かんできた。とても面白く聴かせて戴いた。

これまでの歴史やきっかけ、経緯などがよく分かったが、市長は具体的プランをお持ちだと思うので、今はこのように動いておりこれからはどのようにしたいのか、マスタープランではなくアクションプランまで一步踏み込んで前田さんから聞いて戴きたかった。そのようなお話を聞けば若い人たちは今そういう事をやっているのを認識し考えると思う。歴史の番組なので振り返ることが中心になると思うが、現在と未来について触れる部分が後半にもう少しあるとより親しみを持てるように思う。

議長

懐かしい歴史がいろいろ感じられたが、最後にアサヒビールの跡地の件が話題に出て、上手くそれで収められた。いづれにしてもこれは周年なので、おっしゃるように若い方にアピールする具体的なものを盛り込んで改めて番組を作って戴きたいがいかか。

委員

30分という短い時間の中で、よくこれだけお話をされたなあと思う。50年前は生まれてはいるが、こちらに引っ越してきたのは30年前で子育てをしながら暮らしてきたので西宮を理解しきっていなかったところがあった。けれどこの30分で西宮というものははっきり分かった。これからいろいろなところでお話をする時に参考にしたいと思った。

議長

文教地域の市政は今まで2番目だったというくだりなどは話題に使えますね。

委員

この番組は毎回テーマを決めて各地の歴史を取り上げていると思うが、西宮は震災以降に新しく住民になられた方がかなり増えているので、このような番組は有意義で必要かと思う。皆さんがおっしゃられていたように短い間に聴いただけでよく分かった。今後もこのような番組を続けて行ってほしい。

商工会議所では毎月会員に会報誌をお配りするが、その中に地名の成り立ちを取り上げた連載の読み物を掲載していたことがあり、とても人気がありそれだけで一冊の本ができた。この番組も人気があると思うので続けてほしい。

委員

再放送の On Air を聴かせて戴いた。市長が話し足りないところをパーソナリティーの前田さんが上手く引き出して、補足説明をしたり市長に突っ込んで伺ったりと、どこまで台本があるのか分からないが、上手い掛け合いが出来ていた。内容的にもテーマ的にもよかったと思う。

広報課

委員がおっしゃったように、市長の話に前田さんがかぶってくる部分があって、その時は何を言っているのか判らない。収録時に立ち会っていたが、その時はあまり気にならなかった。改めて放送として聴いてみると、かぶっているところは声質も似ているのでどちらが喋っているのか判らなかった。そういった点は今後勉強しなければならないと思った。

今回は完全な台本はなく、話をする項目だけ挙げておき、ざっくりぼろんな収録だった。前田さんは切り出し方が上手く会話口調で話せた。

市長から今後のまち作りについてもっと触れたらよかったというご意見もあったが、現在、文教住宅都市宣言 50 周年にあたり、今後の 50 年を考える事業展開をしている。具体的にどうするかは、またこのような番組を通じて発表していこうと思っている。

日頃の市政についての番組としては「聞いてなるほど！西宮市政」という 20 分番組がある。それにも市長が出演して現在のまちづくりについて話をしているので、市民の皆さんに PR していきたい。9/25 号の市政ニュースにも載るが、その番組の次回 10 月の出演ではアサヒビールの跡地活用についての方針について詳しく紹介する。市の提供番組なので今伺ったご意見を活かしたい。

顧問

委員がおっしゃった通り声質が似ているので聴きにくい。やはりそのような時は相手を変えたり間にもう一人入れて話題を振っていくようにしないと、ラジオなのでどちらが喋っているのか判らないのは避けたい。それを防ぐには間に司会者を入れるということになるだろう。

台本を作るのは大変だったと思うが市長は上手く話したという印象がある。

取締役

広報課がおっしゃったように、市長のインタビュー番組は別にあるのですね。月に 1 回ですか？

広報課

「聞いてなるほど！西宮市政」は毎週放送の番組だが、市長の出演は月に 1 回。

取締役

この番組は「歴史と文化の散歩道」で歴史について取り上げるのだから、学者のような方がもっと客観的に説明するような方がいいように思った。市長はこれからの事についてなどもう一つの番組で話をするのがいいように思った。

声質が殆ど同じなのでやはり区別しにくかった。また、前田さんも市で勤務をされており西宮について熟知しており、西宮を熟知している者同士が喋っているので話の内容からもどちらが喋っているのか判りにくいところは確かにあった。

議長

ただ思うに、編集なしのぶっつけ収録だから出演者の人間らしさが出る。例えば詰まったところのつなぎ方など前田さんは非常に上手い。そういったところが反面に出たのではないか。

委員

私も以前に前田さんの番組に出たことがある。収録前に打ち合わせをして本番収録をしたが、緊張して上手く話せなくても事前に打ち合わせした話の中からフォローしてくれた。市長との掛け合いでも事前の打ち合わせで出てきた話をもっと拾っておかなければと思われたのではないかと思う。

議長

後で少しだけブランクの時間を加えて編集してもらえば聴きやすくなるかもしれない。対談の技術の問題もあるだろうが。

委員

内容が盛りだくさんだただけに余計聞き辛かったのかもしれない。

議長

他にご意見はないか。社長のご意見も伺いたい。

社長

前田さんは定年になられてから宮水学園におられて、それからさくらFMにこられた。前田さんが残された足跡は番組の中にたくさんある。「元気してます！熟年パワー」は近畿J C B Aでの放送賞で最優秀賞を取り全国区の毎日放送の賞も取った。今回の審議会のご意見からも反響を感じ取っている。濃密な番組だったと思うし、皆さんのご意見にも感じ入っている。皆さんのご指摘があった点は音声の世界なので大事なことだと思う。是非今後に生かしていきたい。ありがとうございました。

(2) 15周年イヤー事業の報告と今後の放送について

議長は、二つ目の議題の「15周年イヤー事業の報告と今後の放送について」に移る旨を述べ、事務局に説明を求めた。

事務局はまず、7月16日に決定した公式ロゴマークとキャラクターを紹介し、ロゴマークには114件、キャラクターには154件の応募があり、結果のマスコミ発表は8月28日に行った旨を伝えた。社長に加え議長にも審査員をお願いしたため、社長にコメントを求めた。

社長は審査員のメンバー紹介をし審査の様子を説明した。ロゴマークはスムーズに決定したが、キャラクターについては若干難航したいきさつと展開を説明した。また記者発表の様子も説明した。

事務局は続いて議長にもコメントを求めた。

議長は新聞社5誌に掲載された旨を確認し、この周年を機会に今後ロゴとキャラクターを有効に使用して事業を展開することを期待する旨を述べた。

続いてサザンオールスターズ月間についての説明を事務局に求めた。

事務局は15周年記念企画の一環である8月の「サザンオールスターズ月間」について説明した。今回の月間企画でもランキング投票を行い、100通以上の投票が得られ8月31日の特番で結果を発表した旨を伝えた。

議長はその他の事項について報告等の有無を事務局に尋ねたところ、社長から11月27日の15周年記念式典についての説明がなされた。また、記念誌発行の準備を進めている旨も述べ、委員にご協力を求めた。

(3) その他

議長

何か言い漏らしたご意見、ご要望などありませんか。

取締役

16日に大雨洪水警報が発令された際の防災情報をもう少し頻繁に流して欲しい。放送間隔が1時間というのは長い。テレビなどで流しているものは地域情報が少ない。実際の交通状況と放送内容が一致していなかった。しっかりした情報を提供してもらいたい。さくらFMを作った意味も鑑みて、緊急の時は正確な自地域情報を頻繁に流すべきだ。あれは消防署からの情報か？

広報課

国や県からの情報がまず防災対策課に入ってくる。その情報も遅い事がある。そこからまた広報課へ入ってくるのでタイミングがずれ徹底できていない面もある。

取締役

さくらFMとの連絡の形が整っているかは大事なことだと思う。

社長

緊急時には待機して対応しているが、ご指摘の通りリアルタイム的な部分ではまだ対応できていない点があると思う。先日は市からの情報が14回出され、1時間に1回ペースだった。間隔には差があり3時間に1回の時もあれば1時間に2回という時もある。いずれにしてもさくらFMの原点は災害の時にいかに早く周知するか、事後のケアを濃密に出来るかであるとしっかり認識している。防災放送の協定の見直しも含めて改善充実の道を探している。

議長

先日の台風の時も徹夜待機して情報を流していたことを市民は知らないと思うので、緊急の時は待機して放送しているという事を告知した方がいいのではないか。

委員

前に地震の誤報が出た時は一斉に携帯電話が鳴ったが、保育園の先生は園に着いたら携帯電話を置いて保育をしているため分からなかったそう。さくらFMのラジオは電源を入れていなくても災害があったら鳴って知らせてくれるという事をおっしゃっていた。

社長

その旨は何っている。保育園が情報の空白地になっていることも認識している。緊急告知ラジオの件は現在進めているので、対応したい。

顧問

3都市宣言周年事業式典の放送はするのか。

広報課

やります。

顧問

式典の司会者はベイクムの放送時間は何べんも告知していたが、さくらFMはやりますの一言だけだった。あれは台本が悪いのか資料提供が悪かったのか。

広報課

どちらも同様に情報提供をしているが、何故そうなったのかは分からない。放送するテレビチャンネルにいろいろ種類があつて情報が多かつたため、さくらFMまで全部を言いきれなかつたのかもしれない。

社長

着任してから1年弱経つが、さくらFMの位置はまだまだ低いように思う。これから頑張っていくのでもう少しお時間を頂きたい。

議長

もう少し時間がございますから折角の機会ですから他のご意見もおっしゃって下さい。番組審議会で市政についての情報を初めて聞くようなことも結構ありますね。そういった意味でもこれがチャンスですからおっしゃって下さい。

委員

うちは「宮っ子」を作っており全市民配布ということになっているが、なかなかそうはいかない。市政ニュースは全市民配布のようなので、紙面のどこかに「宮っ子」は全市民に配っているのだから（出来れば自治会に入ってもらいたい、そこまで書けなくとも）欲しい方は申し出てくれればお配りする旨などを書いてほしい。

広報課

毎号には書けないが、紹介は出来ると思う。

取締役

あれは自治会が配っているのか。

委員

地域をお願いしている。全戸に配布という事になっているが、新しいマンションなど自治会に入っていないところには配れていない。西宮の事がよく分かると言って戴いているので赤字ながらも頑張っている。

取締役

地域によって配布時期が違うようだ。発行してから早い遅いの違いがある。

委員

ステーションを作つてそこから分配し始めるが、その後の配布が地域によって差が出てしまう。配布する人にもよるし、配布先の不都合などにもよって遅れることもあるようだ。ステーションまでは配られてはいるのだが。

議長は委員にその他特にご意見がない旨を確認し、本日の審議会を終了し閉会する旨を述べ、社長に挨拶を要請した。

社長は審議会でご意見を頂いた事への謝意を述べ、閉会にあたって挨拶を行った。

事務局は次回の審議会は11月20日の午前10時30分に西宮市職員会館第1中会議室にてと決定し、審議番組は後日改めて連絡致す旨を伝えた。

議長は、午前11時20分に審議会閉会を宣した。

議事の経過を明確にするため、議事録を作成し、委員長及び出席委員の記名押印をする。

平成25年9月20日

西宮コミュニティ放送株式会社